

科目名	インターンシップ 1							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	演劇スタッフ科 2年次	必／選	選	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	山本浩二		教員の実務経験		有	実務経験の職種		舞台スタッフ	
【科目の目的】 現場作業を体験する。現場の厳しさと共にやりがいを感じるにより、スタッフとして働く意欲を更に持てるようにする。									
【科目の概要】 企業が実施する研修に参加したり、現場作業を体験したりすることにより、プロの世界で働くことを意識するようになることを目的とする。 現場の厳しさと共にやりがいを感じるにより、スタッフとして働く意欲を更に持てるようにする									
【到達目標】 演劇のスタッフとして幅広い知識や技能が求められる中、インターンシップを活用し、より複雑な判断を身に付け、社会に貢献する人材となること を目標とする。									
【授業の注意点】 安全に努めること、自己管理をしっかりすること。現場のスケジュールを学校に提出すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受 験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	時間前行動など行の意味を理解して行動できる		就業時間、内規を守ることができる		就業時間、内規などを守れない				
到達目標 B	周囲の安全も守ることが出来る		まず自分の安全を守れる		安全管理ができていない				
到達目標 C	お客さんの存在を意識して業務を行うことが出来る		言われたことは理解できる		業務の意味が理解できていない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									

【参考資料】							
実習や授業でまとめた資料を参照。							
【成績の評価方法・評価基準】							
実習課題 100% 現場で学んだことをレポートにまとめる。担当の先生に状況を報告する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		インターンシップ 1				年度	2025
英語表記						学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インターンに参加するための心得 1						
2	インターンに参加するための心得 2						
3	現場研修、見学						
4	現場研修、基礎 1						
5	現場研修、基礎 2						
6	現場研修、基礎 3						
7	現場研修、基礎体験 1						
8	現場研修、基礎体験 2						
9	現場研修、基礎体験 3						
10	現場研修、基礎体験 4						
11	現場研修、他セクション見学 1						
12	現場研修、他セクション見学 2						

13	現場研修、他セ クション見学3						
14	現場研修、把 握、理解1						
15	現場研修、把 握、理解2						
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							